

兵庫県下の経済動向

平成29年2月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

【概 況】

最近の県内景気は、緩やかな回復基調を続けている。
個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、底堅く推移している。
また、設備投資は増加し、住宅投資は持ち直している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が12か月連続して前年実績を下回った。

乗用車販売は、3か月連続して前年実績を上回った。

家電販売は、緩やかに持ち直しつつある。

設備投資は、28年度は増加となる見込み。

住宅投資は、全体で2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額は、神戸市で大幅減となるも、神戸市を除く市町、その他の団体、国、独立行政法人等で著増、兵庫県で大幅増となった。

貿易は、輸出は、アジア、米国、EU向けが減少したため11か月連続して前年を下回った。輸入は、中国、米国、アジアが増加したため16か月ぶりに前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、3か月ぶりに前年を上回った。

雇用関係では、新規求人数、有効求人倍率ともに前年を上回った。

また、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を上回ったが、所定外労働時間は前年並みとなった。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を上回ったが、負債金額は前年を下回った。

兵庫C I 及び兵庫D I から見た県内の景気動向

11月の兵庫C Iは、先行指数102.4、一致指数105.8、遅行指数94.5となった。

11月の兵庫D Iは、先行指数42.9%、一致指数50.0%、遅行指数37.5%となった。

兵庫C Iは、先行指数は2か月ぶりに前月差増、一致指数は2か月ぶりに前月差増、遅行指数は3か月ぶりに前月差減となった。

一方、兵庫D Iは、先行指数が7か月ぶりに50%を下回った。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、悪化を示している。」としている。

*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

12月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は99.4、前月比3.4%増。出荷指数は99.2、同0.5%減。在庫指数は104.5、同0.5%減。在庫率は104.1、同7.9%減。生産指数は3か月ぶりに増加、出荷指数は2か月ぶりに減少、在庫指数は4か月連続で減少した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比0.6%増で3か月ぶりに増加、出荷は同0.3%減で2か月ぶりに減少、在庫は同3.6%減で2か月連続で減少した。

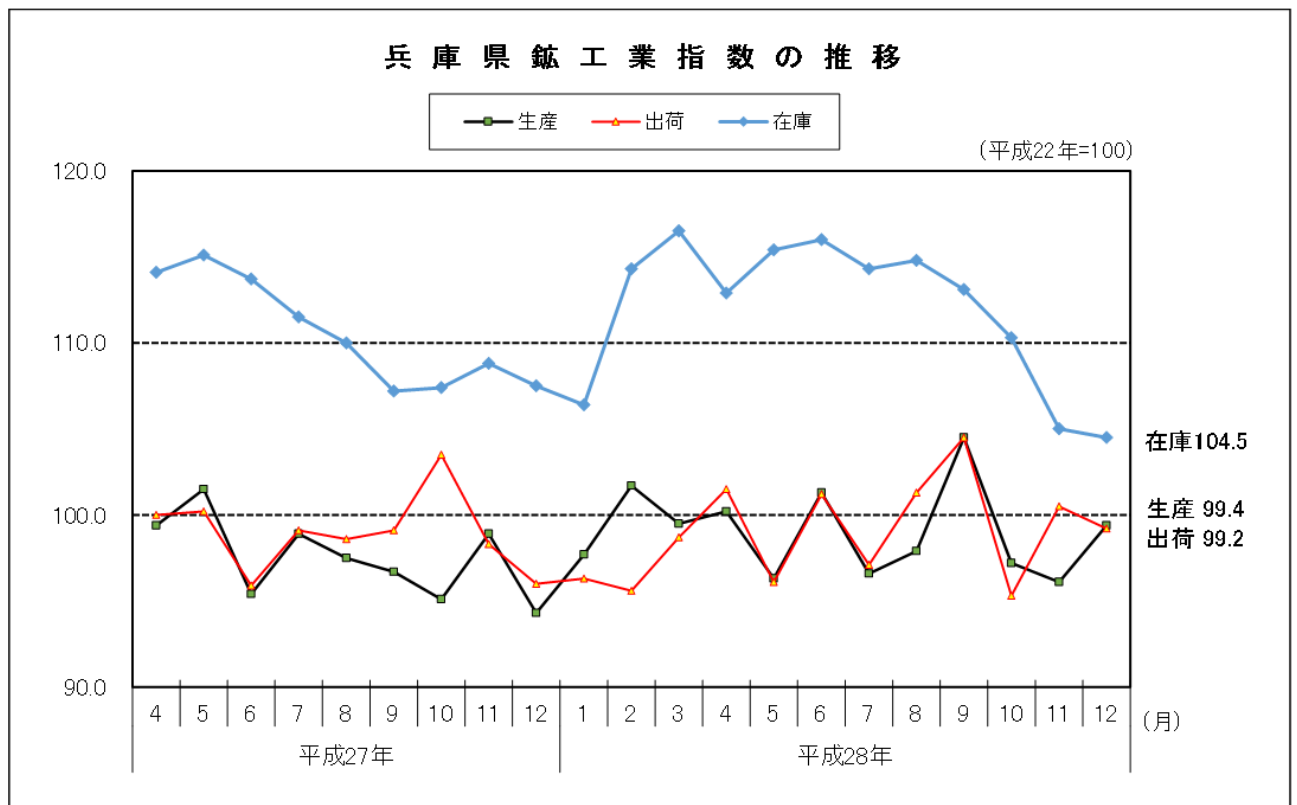
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、「はん用・生産用・業務用機械工業」(機械式駐車装置等)が13.3%、「鉄鋼業」(亜鉛めっき鋼板等)が8.4%、「化学工業」(医薬品等)が6.4%、「情報通信機械工業」(固定通信装置等)が6.1%、「窯業・土石製品工業」(セメント等)が5.7%、「金属製品工業」(ガス風呂がま等)が2.3%、「輸送機械工業」(機体部品等)が1.2%各々増加し、「食品工業」(ビール類等)が3.2%、「電気機械工業」(非標準油入り変圧器(10000kVA以上)等)が7.5%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「緩やかな持ち直しの動きがみられる。」とした。

12月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	99.4	3.4	103.2	0.6
出 荷	99.2	▲ 0.5	103.3	▲ 0.3
在 庫	104.5	▲ 0.5	103.9	▲ 3.6
在 庫 率	104.1	▲ 7.9	103.9	▲ 2.3

資料：兵庫県企画県民部統計課



12月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	99.4	8.4	上昇	亜鉛めっき鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼半製品、粗鋼
			低下	普通鋼鋼帯、普通鋼鋼管、铸铁管、PC鋼線
金属製品 工業	86.1	2.3	上昇	ガス風呂がま、ガス温水給湯暖房機、作業工具、ガス温風暖房機
			低下	ねじり棒ばね、PC鋼より線、軽量鉄骨系パネル、機械刃物
はん用・生産 用・業務用 機械工業	92.0	13.3	上昇	機械式駐車装置、蒸気タービン部品、建設用クレーン、はん用内燃機関
			低下	混合機・かくはん機・粉砕機、一般用蒸気タービン、圧縮機、油圧バルブ
電気機械 工業	135.5	▲ 7.5	上昇	開閉制御装置、一般用エンジン発電機、超音波応用装置、計器用変成器
			低下	非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、一般用タービン発電機、リチウムイオン蓄電池、工業用計測制御機器
情報通信 機械工業	127.2	6.1	上昇	固定通信装置、カーナビゲーション、テレメータ・テレコントロール、レーダ装置
			低下	携帯電話、ノート型パソコン、無線位置測定装置、カーオーディオ
輸送機械 工業	108.7	1.2	上昇	機体部品、旅客車、特装ボデー、懸架制動装置部品
			低下	船用ディーゼル機関、特殊自動車、二輪自動車(125ml超)、エンジン
窯業・土石 製品工業	108.1	5.7	上昇	セメント、遠心力鉄筋コンクリート管、安全ガラス、ファインセラミックス(構造材)
			低下	ガラス製容器類、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、プレストレストコンクリート製品、不定形耐火物
化学工業	109.2	6.4	上昇	医薬品、複合肥料(化成肥料)、二塩化エチレン、ポリスチレン
			低下	化粧品、自動車排気ガス浄化用触媒、水系合成樹脂塗料、脂肪酸
食料品工業	90.3	▲ 3.2	上昇	肉製品、乳飲料、しょうゆ、冷凍調理食品
			低下	ビール類、清酒、塩、精米

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた1月の県内百貨店売上高は、前年同月比3%減の162億5,178万円で、6か月連続で前年実績を下回った。

気温が低かったために春物が振るわず、衣料品部門は紳士、婦人、子ども用のいずれも3%前後減った。靴やバッグなどの身の回り品は3.2%減、食料品は3%減だった。一方で、中国人を中心に訪日外国人客が増える春節（旧正月）が1月に早まったことなどが追い風となり、化粧品は5.2%増えた。

神戸地区は3.2%減、姫路・加古川地区は1.8%減だった。

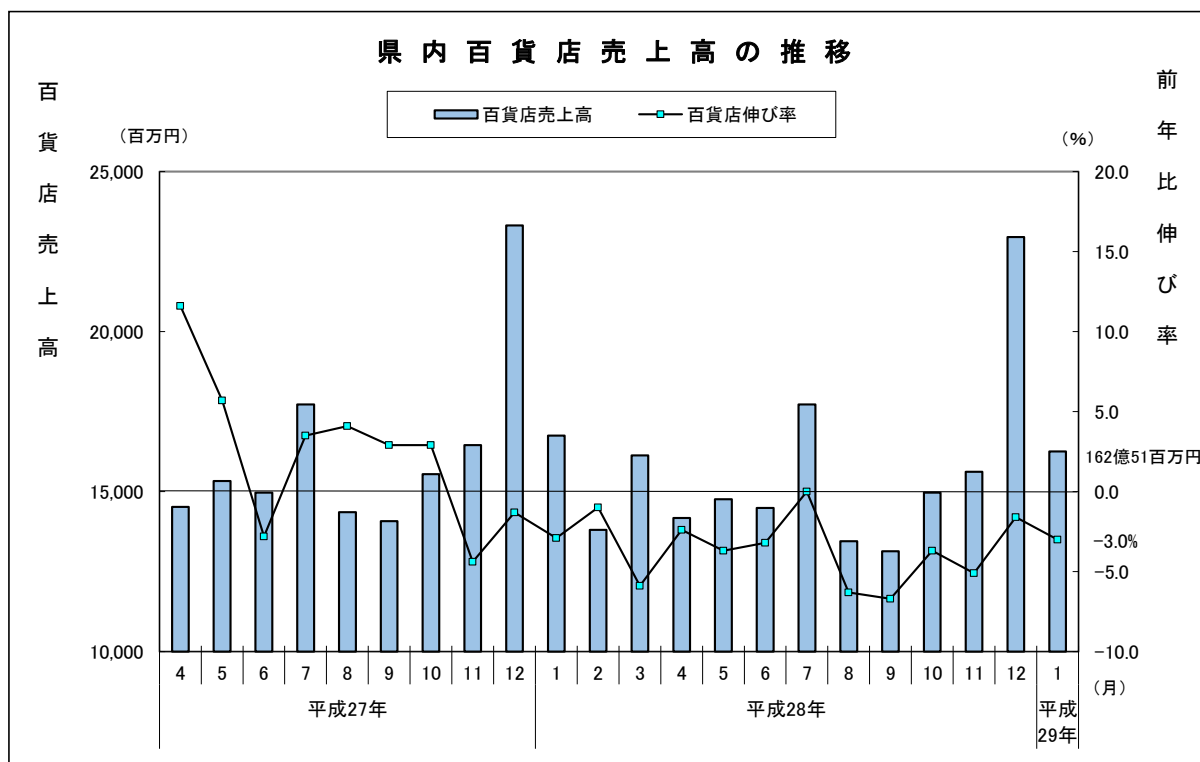
1月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路・加古川	合計
紳士服・洋品	808(▲2.8)	221(▲5.3)	1,029(▲3.3)
婦人服・洋品	4,676(▲3.6)	657(▲3.0)	5,334(▲3.6)
子供服・洋品	380(0.3)	97(▲7.6)	478(▲1.4)
身の回り品	1,395(▲5.0)	300(5.8)	1,695(▲3.2)
雑貨	1,974(▲2.9)	377(▲3.2)	2,352(▲2.9)
家庭用品	459(▲4.7)	134(0.2)	593(▲3.6)
食料品	3,143(▲3.5)	698(▲0.7)	3,841(▲3.0)
その他	668(3.0)	258(▲3.1)	926(1.2)
計	13,506(▲3.2)	2,744(▲1.8)	16,251(▲3.0)

※ 単位百万円、百万円未満切捨て。()内は、前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内1月の乗用車新車登録台数は13,816台、前年同月比1.4%増と4か月連続して前年同月の実績を上回った。

1月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,292台(前年同月比0.3%減)、小型乗用車は4,220台(同21.0%増)、軽乗用車は4,304台(同10.9%減)、乗用車合計で13,816台(同1.4%増)となった。

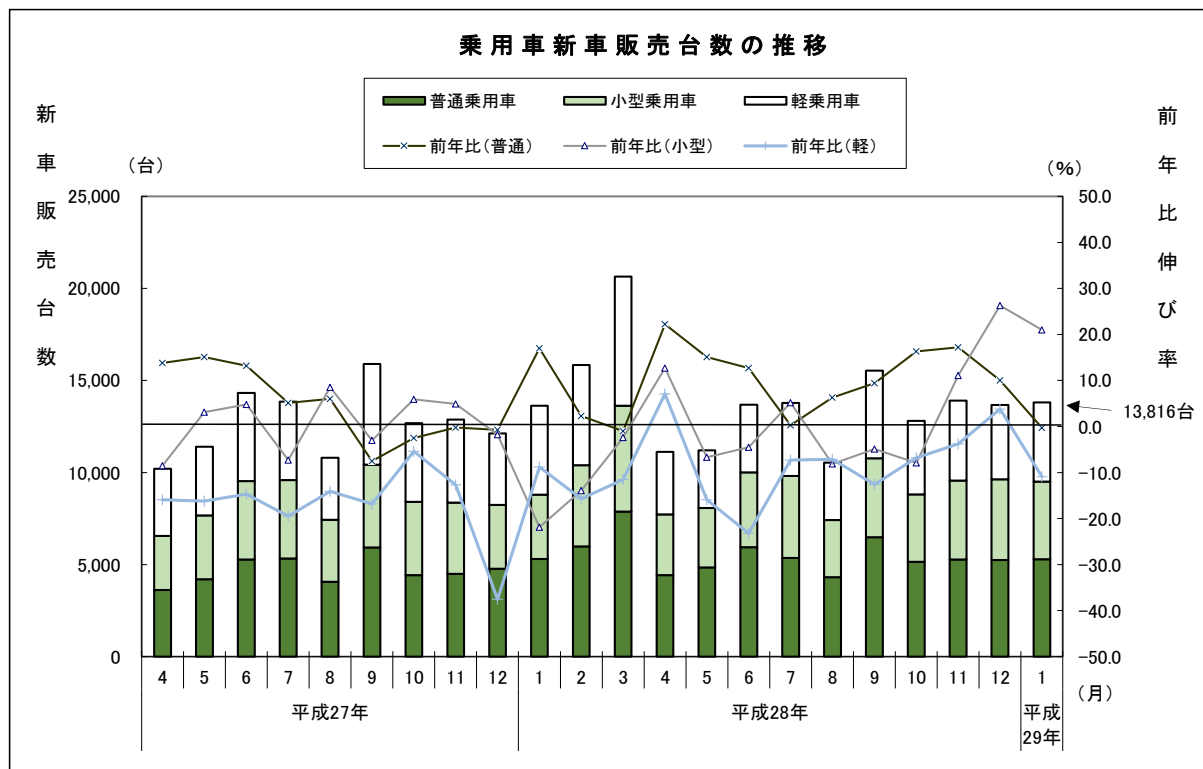
また貨物車等では、普通貨物車は270台(前年同月比10.2%増)、小型貨物車は562台(同5.4%増)、軽貨物車は1,088台(同4.8%増)、バスは28台(同6.7%減)となった。

1月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,292	▲0.3	119,767	1.3
小型乗用車	4,220	21.0	109,333	18.6
軽乗用車	4,304	▲10.9	114,320	▲3.6
乗用車合計	13,816	1.4	343,420	4.4
普通貨物車	270	10.2	10,823	4.3
小型貨物車	562	5.4	17,218	8.1
軽貨物車	1,088	4.8	29,241	9.9
貨物車合計	1,920	5.7	57,282	8.3
バス	28	▲6.7	944	▲3.0
登録車総計	15,764	1.9	401,646	4.9

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が2月9日に発表した機械受注統計によると、平成28年12月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成28年11月前月比20.6%増の後、12月は同3.1%減の2兆5,108億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、11月前月比5.1%減の後、12月は同6.7%増の8,898億円となった。

内訳をみると、製造業は同1.0%増の3,670億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同3.5%増の5,002億円であった。

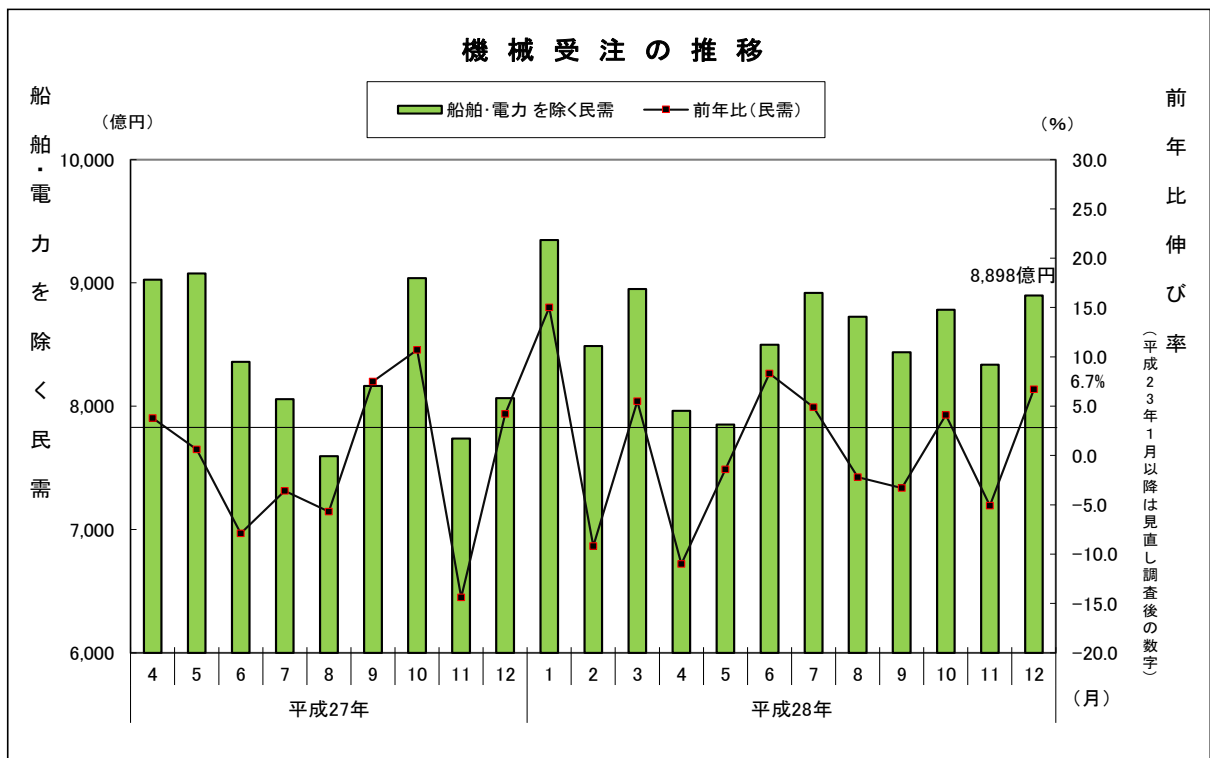
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、窯業・土石製品(131.8%増)、石油製品・石炭製品(102.2%増)、化学工業(71.8%増)、非鉄金属(53.2%増)、情報通信機械(7.5%増)、はん用・生産用機械(6.2%増)、業務用機械(5.3%増)等の7業種で、金属製品(3.5%減)、自動車・同付属品(3.6%減)、その他輸送用機械(3.6%減)、食品製造業(4.9%減)、鉄鋼業(5.8%減)、「その他製造業」(6.1%減)、造船業(10.7%減)、繊維工業(16.5%減)、電気機械(22.7%減)、パルプ・紙・紙加工品(40.0%減)等の10業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業(60.9%増)、リース業(50.8%増)、不動産業(18.8%増)、建設業(16.9%増)、卸売業・小売業(10.4%増)、農林漁業(4.8%増)、情報サービス業(4.1%増)、「その他非製造業」(2.1%増)等の8業種で、鉱業・採石業・砂利採取業(3.6%減)、通信業(4.3%減)、電力業(17.1%減)、金融業・保険業(40.3%減)等の4業種は減少となった。

兵庫県下においては、2016年度設備投資額は、非製造業が減少計画の一方、製造業が増加計画であることから、全産業では増加計画。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2016年12月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比-7.7% (製造業-6.6%、非製造業-12.3%)



機 械 受 注 統 計 (平成 28 年 12 月分)

	2016年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	2017年 1～3月 見通し	2016年 9月 実績	10月 実績	11月 実績	12月 実績
受注総額	69,021 (-4.4) [-2.5]	64,834 (-6.1) [-9.6]	62,916 (-3.0) [-9.0]	72,510 (15.2) [0.8]	67,841 (-6.4) [-4.3]	20,808 (0.9) [-9.3]	21,486 (3.3) [-21.1]	25,915 (20.6) [16.0]	25,108 (-3.1) [10.7]
民 需	34,667 (12.4) [4.5]	28,742 (-17.1) [-6.1]	29,347 (2.1) [0.9]	32,707 (11.4) [7.3]	33,206 (1.5) [-4.0]	9,721 (-0.7) [0.9]	9,842 (1.2) [-15.8]	10,963 (11.4) [16.7]	11,902 (8.6) [21.9]
〃 (Ex 船・電)	26,785 (6.7) [3.4]	24,312 (-9.2) [-6.5]	26,080 (7.3) [6.5]	26,018 (-0.2) [3.6]	26,878 (3.3) [2.7]	8,437 (-3.3) [4.3]	8,783 (4.1) [-5.6]	8,337 (-5.1) [10.4]	8,898 (6.7) [6.7]
製 造 業	11,677 (13.7) [4.3]	10,110 (-13.4) [-12.9]	10,563 (4.5) [-0.5]	10,615 (0.5) [3.5]	11,844 (11.6) [4.9]	3,355 (-5.0) [-1.5]	3,310 (-1.4) [-9.0]	3,635 (9.8) [8.3]	3,670 (1.0) [10.9]
非製造業 (Ex 船・電)	15,071 (3.5) [2.6]	14,325 (-5.0) [-1.0]	15,503 (8.2) [11.8]	15,172 (-2.1) [3.3]	14,818 (-2.3) [-0.8]	5,103 (-0.9) [7.8]	5,336 (4.6) [-3.9]	4,834 (-9.4) [11.6]	5,002 (3.5) [3.5]
官 公 需	7,876 (20.0) [18.6]	6,830 (-13.3) [-14.6]	7,585 (11.0) [-6.4]	9,254 (22.0) [37.8]	9,351 (1.0) [-4.8]	2,206 (-10.3) [-25.2]	2,724 (23.5) [31.2]	3,313 (21.6) [58.3]	3,217 (-2.9) [30.5]
外 需	23,439 (-26.6) [-18.8]	24,305 (3.7) [-13.6]	22,836 (-6.0) [-21.7]	28,188 (23.4) [-12.9]	22,726 (-19.4) [-2.7]	7,850 (1.4) [-16.7]	7,998 (1.9) [-35.3]	10,983 (37.3) [9.7]	9,206 (-16.2) [-5.9]
代 理 店	3,559 (6.3) [17.3]	3,255 (-8.5) [6.3]	3,552 (9.1) [10.1]	3,519 (-0.9) [4.8]	3,410 (-3.1) [-1.8]	1,214 (5.6) [7.6]	1,111 (-8.4) [-0.7]	1,196 (7.6) [5.7]	1,212 (1.4) [9.4]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内12月の新設住宅着工総数は2,870戸(前年同月比16.8%増)となり前年を上回り、前月比では134戸の減少となった。

また、利用関係別では「持家」が834戸(前年同月比2.3%減)、「貸家」が1,222戸(同42.9%増)、「分譲住宅」が814戸(同10.1%増)となった。

12月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

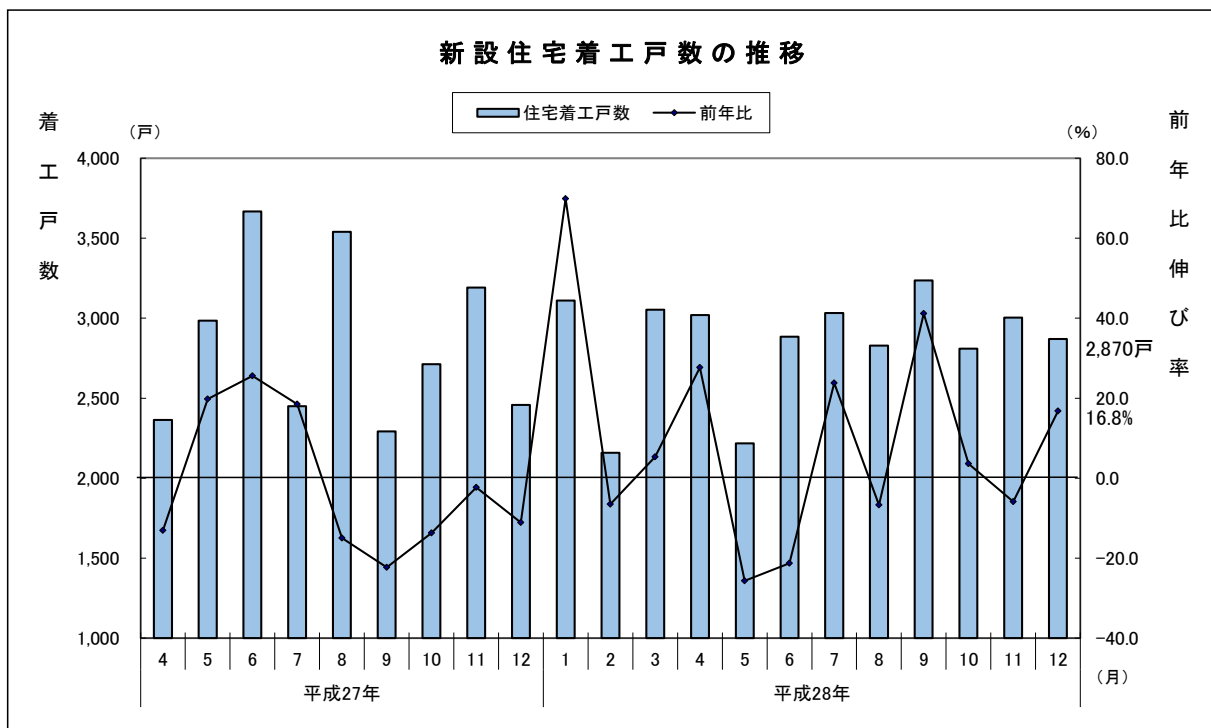
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	834	▲ 2.3	23,890	6.5
・分譲住宅	814	10.1	19,787	4.6
貸家系・貸家	1,222	42.9	34,475	2.2
・給与住宅	0	0.0	254	▲ 28.9
総数	2,870	16.8	78,406	3.9

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

12月の地域別着工戸数 (戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	545	718	338	598	79	444	78	36	6	28	2,870
前月比	-9.5	31.5	-23.5	39.4	-49.0	-21.1	23.8	-51.4	-87.5	-65.9	-4.5

資料：兵庫県住宅政策課



【公共工事】

1月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は252件で前年同月比3.4%の減少、請負金額は168億58百万円で前年同月比40.1%の増加となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」前年同月比54.1%の減少となったが、「神戸市を除く市町」同97.4%、「その他の団体」同77.1%、「国」同70.5%、「独立行政法人等」同69.7%、「兵庫県」同28.5%の増加となったため、前年同月比40.1%の増加となった。

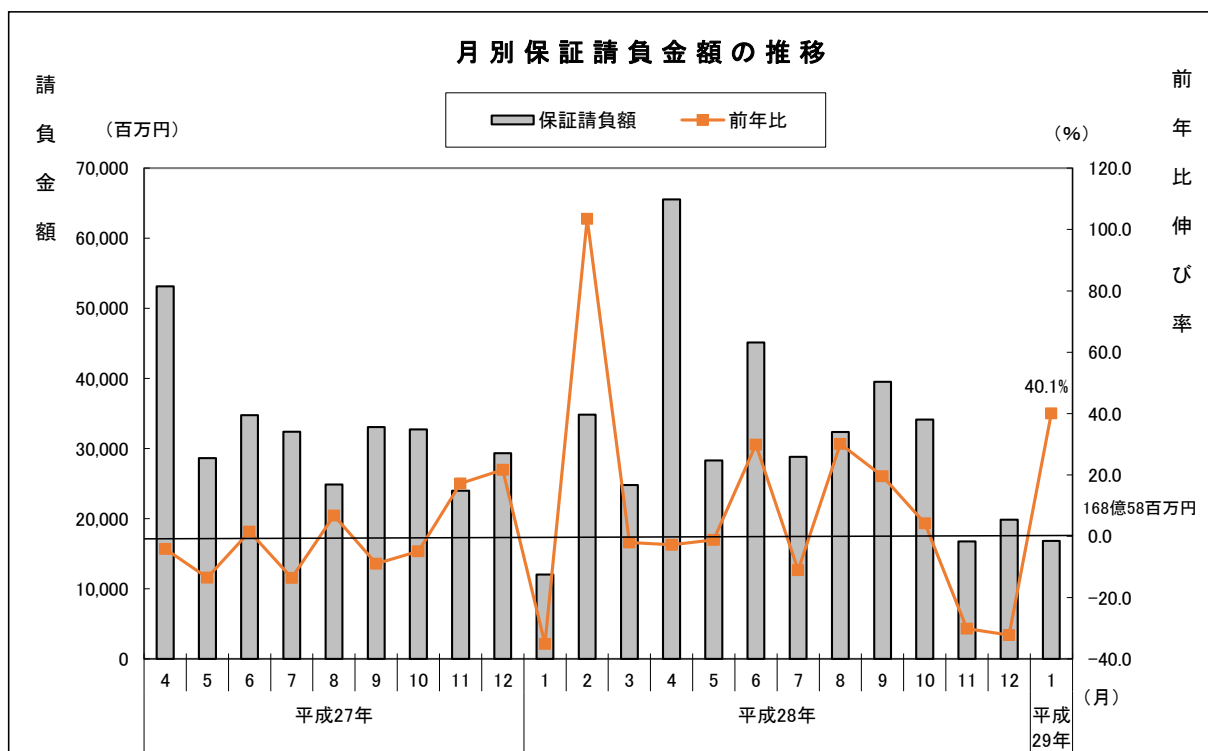
地域別(金額ベース)では、丹波(前年同月比30.4%減)、北播磨(同43.9%減)、淡路(同55.0%減)、阪神北(同63.8%減)が減少したが、東播磨(同425.3%増)、阪神南(同307.8%増)、但馬(同212.3%増)、中播磨(同83.0%増)、西播磨(同49.6%増)、神戸市(同18.1%増)が増加したため、前年同月比40.1%の増加となった。

1月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	8(▲20.0)	2,140(70.5)	日高豊岡南道路藤井トンネル工事
独立行政法人等	7(0.0)	1,764(69.7)	
兵庫県	76(▲1.3)	3,342(28.5)	兵庫県立芸術文化センター大規模修繕舞台音響設備工事 他1件
神戸市	24(▲31.4)	1,238(▲54.1)	
神戸市を除く市町	122(3.4)	4,914(97.4)	神埼浄水場1~3号配水池耐震化等改修及び場内連絡管更新工事 他1件
その他の団体	15(7.1)	3,457(77.1)	高砂市高砂浄化センター雨水ポンプ施設建設工事 他1件
合計	252(▲3.4)	16,858(40.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成29年1月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,206億円、前年同月比2.2%の減少で、総額ベースで16か月連続して減少となった。輸出は半導体等製造装置などが増加したものの、有機化合物、電気計測機器などが減少した。一方、輸入は医薬品などが減少したものの、無機化合物、非鉄金属などが増加した。

輸出は3,457億円(前年同月比6.0%減)と11か月連続して減少した。

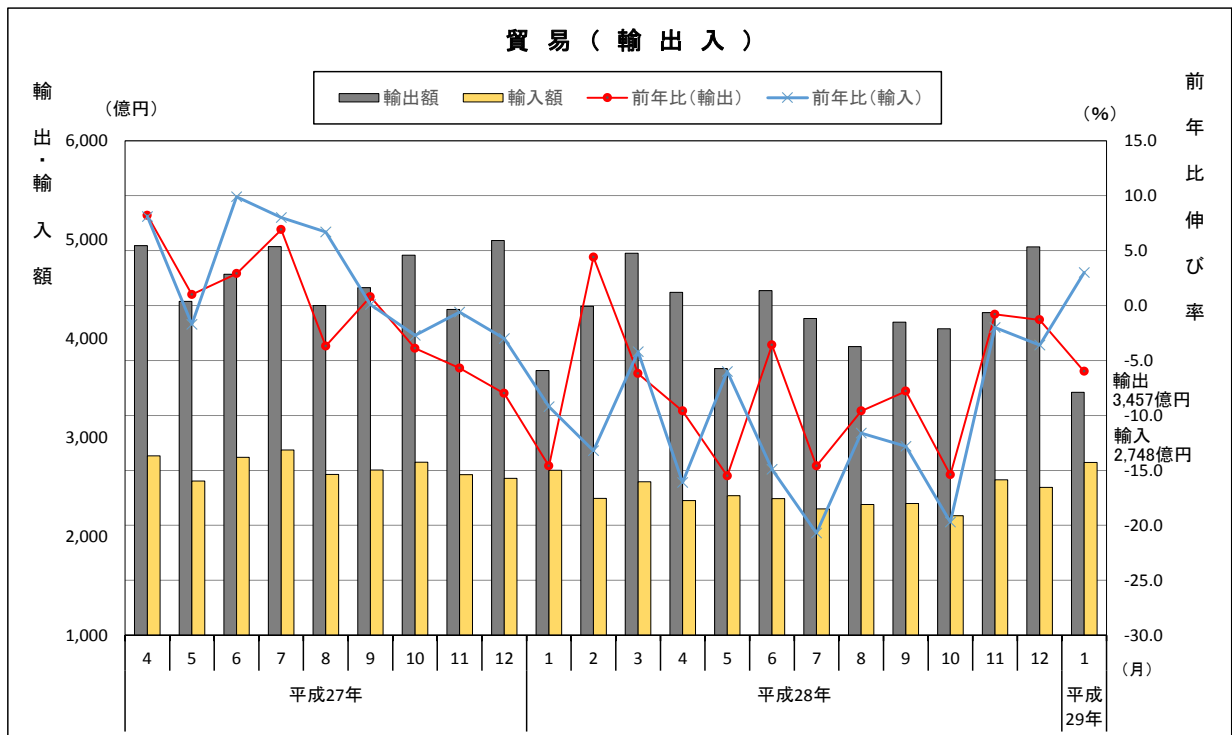
主要品目では、プラスチック(前年同月比5.7%減、3か月ぶりにマイナス)、織物用糸及び繊維製品(同3.2%減、11か月連続マイナス)が減少したものの、原動機(同16.9%増、2か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同3.2%増、2か月ぶりにプラス)が増加した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比2.3%増、2か月連続プラス)が増加したものの、アジア(中国含む)(同0.6%減、3か月ぶりにマイナス)、米国(同9.3%減、7か月連続マイナス)、EU(同15.1%減、7か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,748億円(前年同月比3.0%増)と16か月ぶりに増加した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比27.8%増、3か月連続プラス)、衣類及び同付属品(同7.2%増、8か月ぶりにプラス)、たばこ(同7.0%増、2か月ぶりにプラス)、有機化合物(同4.3%増、2か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比5.5%増、10か月ぶりにプラス)、米国(同5.1%増、3か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同3.5%増、10か月ぶりにプラス)が増加したものの、EU(同2.7%減、3か月ぶりにマイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

1月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.0(2015年=100)となり、前月比0.4%の減少、前年同月比は変わらずとなった。生鮮食品を除く総合指数は99.8となり、前月比0.5%の減少、前年同月比0.3%の減少となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は100.2となり、前月比0.7%の減少、前年同月比0.2%の増加となった。

前月からの動きを見ると、肉類などの増加により「食料」が0.1%、ガス代などの増加により「光熱・水道」が0.3%増加した。

しかし、衣料などの減少により「被服及び履物」が5.1%、教養娯楽サービスなどの減少により「教養娯楽」が1.4%、医薬品・健康保持用摂取品の減少により「保健医療」が0.6%、設備修繕・維持の減少により「住居」が0.1%、家庭用耐久財などの減少により「家具・家事用品」が0.5%、理美容用品の減少により「諸雑費」が0.3%減少した結果、総合指数では0.4%の減少となった。

1月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.0	101.8	100.8	91.0	100.2	99.1	100.0	98.6	101.3	99.9	101.2	99.8	100.2
前月比	▲0.4	0.1	▲0.1	0.3	▲0.5	▲5.1	▲0.6	0.0	0.0	▲1.4	▲0.3	▲0.5	▲0.7
前年同月比	0.0	0.7	0.8	▲6.2	▲0.7	▲0.4	▲0.1	▲0.2	1.1	0.7	0.1	▲0.3	0.2

(注)2015年=100

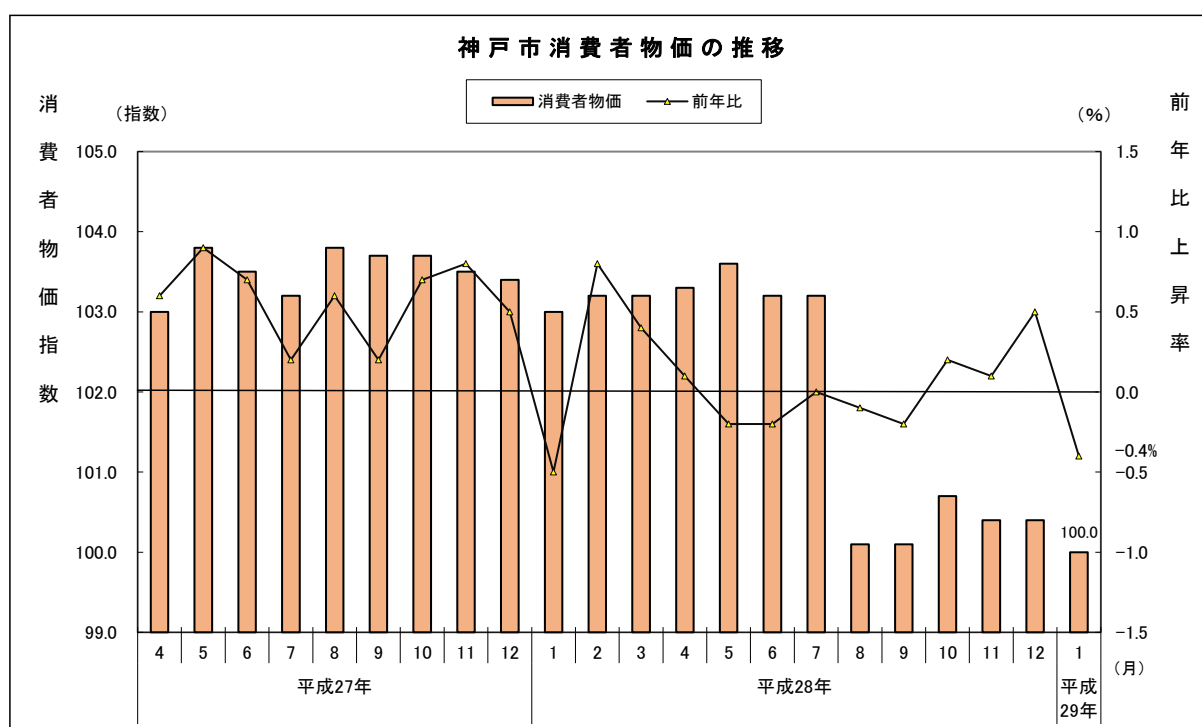
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 肉類 (+ 1.8%)・・・鶏肉、牛肉(輸入品)
- ガス代 (+ 0.7%)・・・都市ガス代

○対前月比値下がりした主な品目

- 衣料 (▲ 7.1%)・・・男子用コート、男子用ズボン(秋冬物)
- 教養娯楽サービス (▲ 2.4%)・・・ゴルフプレー料金、宿泊料



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が2月10日に発表した、企業物価指数(速報)による2017年1月の企業物価指数は次のとおり。

1月の企業物価指数 (速報、2010年=100)

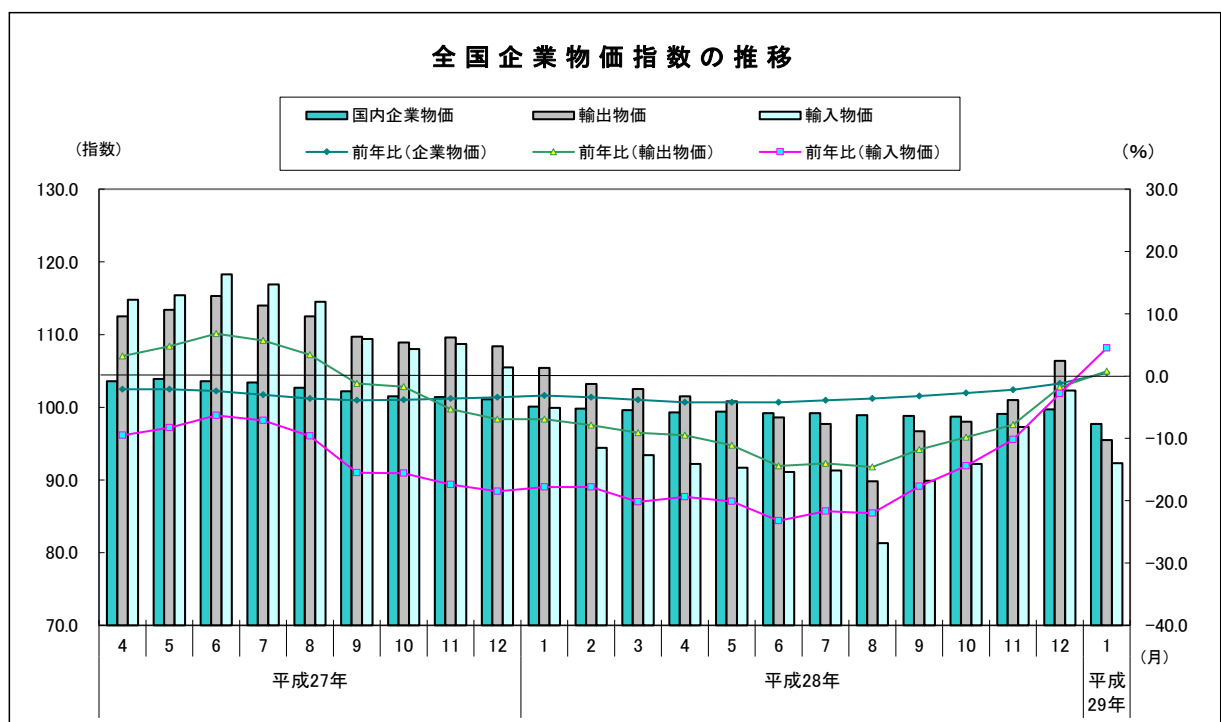
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	97.7	0.6	0.5
輸 出 物 価	95.5	0.0	0.8
輸 入 物 価	92.3	1.5	4.5

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、農林水産物（前月比2.1%減<鶏卵など>）等が減少したが、石油・石炭製品（同6.2%増<C重油など>）、スクラップ類（同3.2%増<鉄くずなど>）、化学製品（同1.9%増<ブタン・ブチレンなど>）、非鉄金属（同1.8%増<アルミニウム合金・同二次合金地金など>）、鉄鋼（同1.5%増<鉄鋼切断品(薄板)など>）、電力・都市ガス・水道（同0.6%増<小口都市ガスなど>）等が増加し、円ベースでは前月比0.6%の増加（前年同月比0.5%増加）となった。

輸出物価は、輸送用機器（前月比0.6%減<普通乗用車(ガソリン車)など>）、電気・電子機器（同0.8%減<モス型集積回路(除モス型メモリ集積回路)など>）等が減少したが、金属・同製品（同1.6%増<熱延広幅帯鋼など>）、化学製品（同1.6%増<合成ゴムなど>）、その他産品・製品（同0.9%増<軽油など>）等が増加し、円ベースでは前月比0.0%（前年同月比0.8%増加）となった。

輸入物価は、飲食料品・食料用農水産物（前月比0.1%減<チーズなど>）、繊維品（同0.8%減<靴下など>）、その他産品・製品（同1.2%減<原塩など>）、電気・電子機器（同2.1%減<モス型ロジック集積回路など>）等が減少したが、石油・石炭・天然ガス（同8.1%増<原油など>）、金属・同製品（同2.1%増<銅鉱など>）、化学製品（同1.5%増<バイオE T B Eなど>）が増加し、円ベースでは前月比1.5%の増加（前年同月比4.5%の増加）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内12月の新規求人数(全数)は、27,629人(前年同月比9.8%増)で、15か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は89,310人(同7.9%増)で80か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比7.6%増で2か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同9.4%増で12か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同28.0%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比8.2%増)、運輸業、郵便業(同17.2%増)、学術研究,専門術サービス業(同22.0%増)、宿泊業,飲食サービス業(同4.5%増)、生活関連サービス業,娯楽業(同28.2%増)、医療,福祉(同14.4%増)、サービス業(同8.2%増)で前年度を上回ったが、製造業(同0.2%減)、卸売,小売業(同8.6%減)で前年を下回った。

(2) 求職状況

12月の新規求職申込件数(全数)は12,475件(前年同月比6.3%減)で4か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、69,195人(同5.6%減)で79か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比7.0%減で4か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.7%減で2か月ぶりに前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比11.9%減で3か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比0.9%増で4か月ぶりに前年を上回り、事業主都合離職者は同21.4%減で12か月連続、自己都合離職者は同6.8%減で13か月連続、自営・他は同0.9%減で4か月連続して前年を下回り、無業者は同8.0%減で60か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、17,694人(前年同月比8.9%減)で47か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

12月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.74倍(前月比0.04ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率については1.19倍(前月比0.01ポイント増)で前月を上回った。

(4) 失業者の状況

12月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.1%、完全失業者数(原数値)は193万人(前年同月比11万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は2.9%(前年同月比0.4ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は30万人(前年同月比4万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
28年12月	27,629	2,008	2,969	226	1,213	3,364	175	715	677	1,992	1,015	8,103	3,570
前年同月比	9.8	8.2	▲0.2	15.3	17.2	▲8.6	31.6	31.7	22.0	4.5	28.2	14.4	8.2

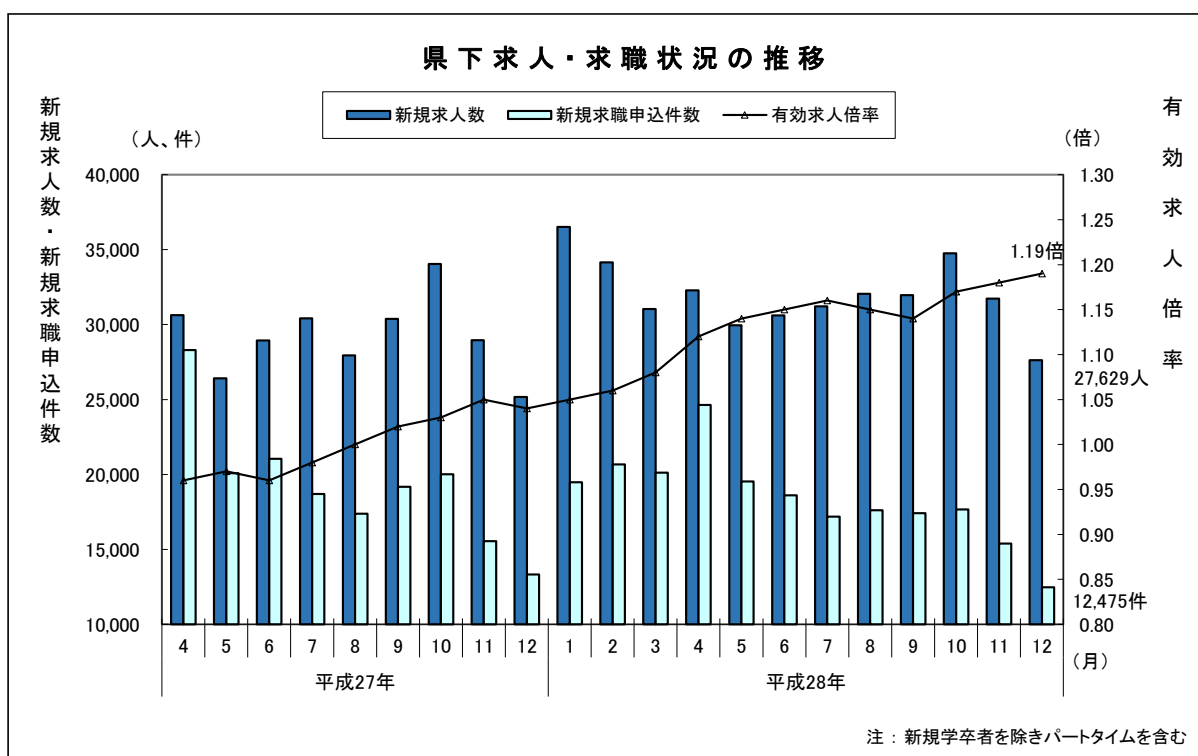
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	15/10-12	16/1-3	16/4-6	16/7-9	16/10	16/11	16/12
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	1.03	1.06	1.13	1.15	1.17	1.18	1.19
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.4	5.9	8.2	7.5	2.1	9.6	9.8
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	1.6	▲ 4.5	▲ 6.8	▲ 9.1	▲11.5	0.0	▲ 5.3
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.8	0.9	0.7	0.9	0.4	0.8	0.3
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	▲ 0.2	0.6	0.3	0.1	▲ 0.3	1.3	0.5

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

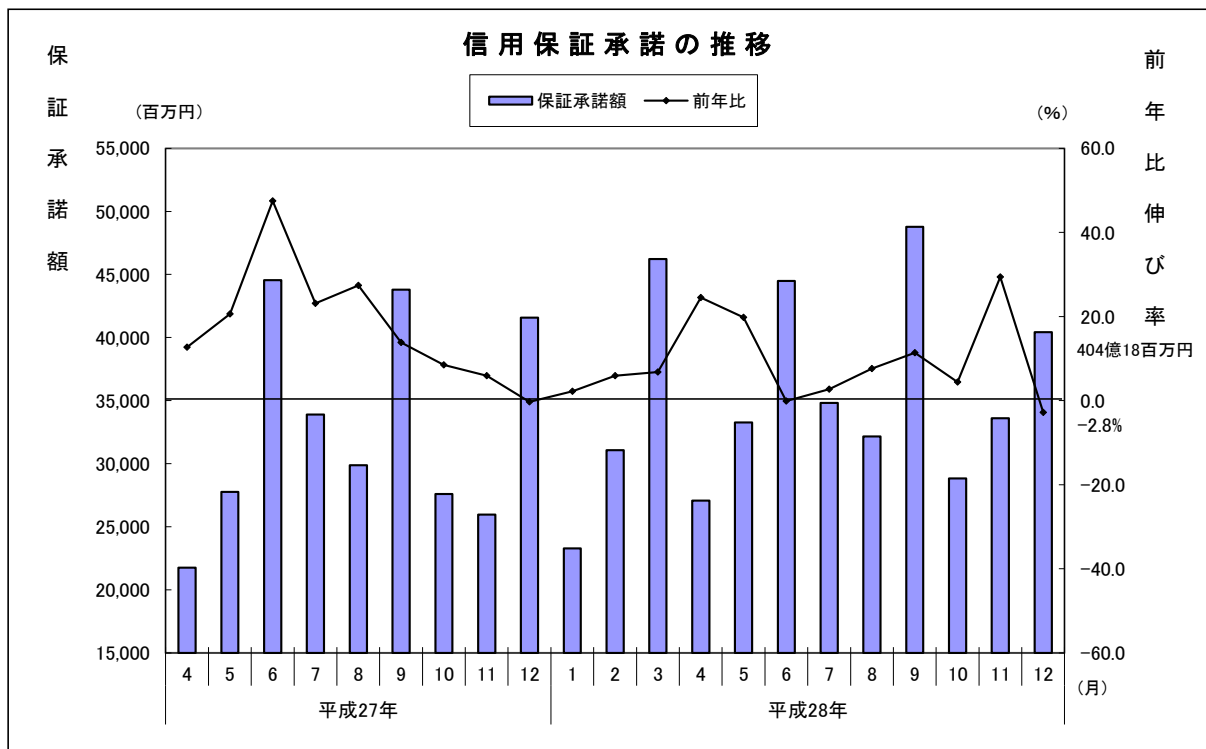
兵庫県信用保証協会による12月の保証承諾実績は、件数で2,475件(前年同月比4.1%増)、金額は404億18百万円(同2.8%減)となり、前年同月実績と比べ、件数は上回り、金額は下回った。

資金使途別では、運転資金37,387百万円(前年同月比2.6%減)、設備資金1,188百万円(同12.2%減)となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに下回った。

業種別(金額ベース)では、「サービス業」6,029百万円(前年同月比21.2%増)、「飲食店」1,143百万円(同13.0%増)、「小売業」4,946百万円(同5.5%増)、「製造業」8,457百万円(同4.8%増)で前年同月を上回り、「不動産業」1,500百万円(同8.8%減)、「建設業」9,088百万円(同11.1%減)、「卸売業」6,268百万円(同21.1%減)等で前年同月を下回った。なお、「運送・倉庫業」2,449百万円(同0.0%)は、前年並みの推移となった。

12月末の保証債務残高は、92,589件(前年同月比3.4%減)、1兆823億47百万円(同0.1%減)となった。

一方、同月の代位弁済は、75件(前年同月比29.2%減)、7億7百万円(同58.8%減)となった。



【金融】

12月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

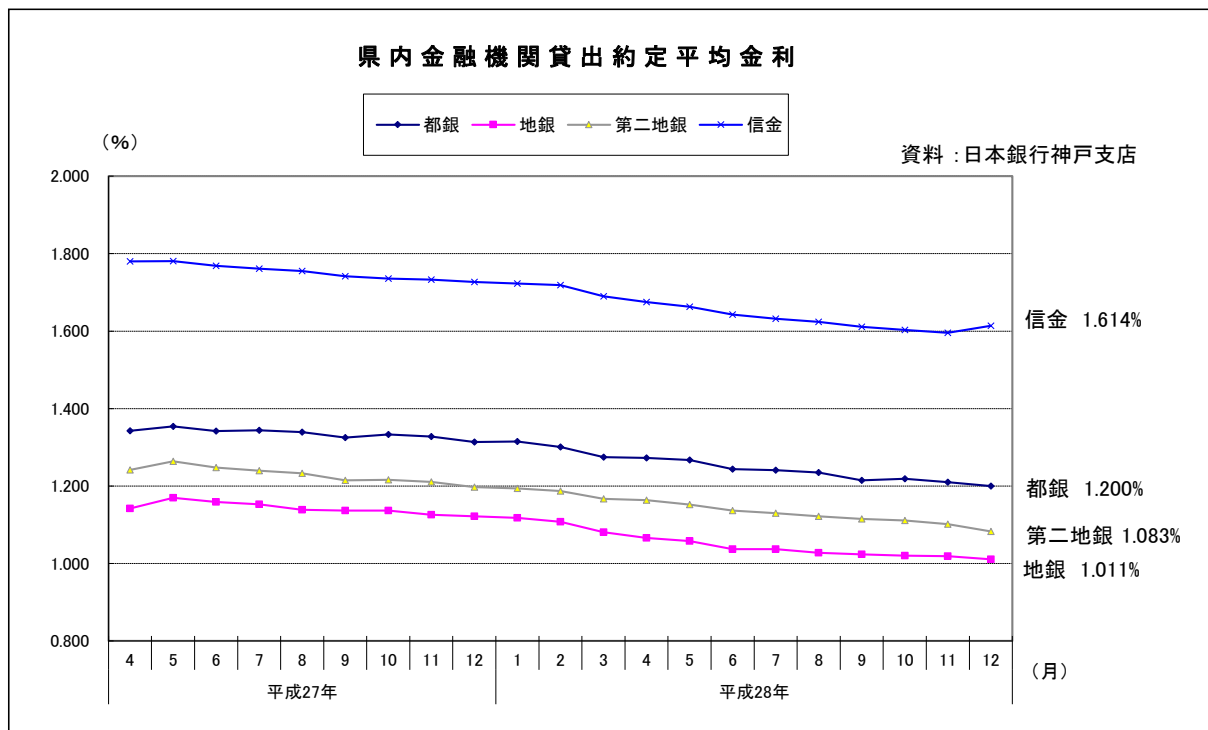
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	161,334	3.9	52,825	▲ 1.0
地方銀行	27,553	2.5	26,114	6.8
第二地方銀行	34,569	1.1	23,159	2.5
信用金庫	85,406	1.7	39,697	2.2
その他	18,017	1.9	17,637	▲ 0.3
計	326,879	2.8	159,432	1.6

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

12月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.8%増)

12月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比1.6%増)

12月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.293%、前月比▲0.012%ポイント)。



【倒 産】

県内1月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は28件で前月比10件（26.31%）の減少、前年同月比3件（9.67%）の減少となり、負債総額は13億72百万円で前月比13億82百万円（50.18%）の減少、前年同月比30億44百万円（68.93%）の減少となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が21件（全体の75.0%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が11件（前年同月比1件増加）でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が20件発生し、全体の71.4%を占めた。

2017年1月の倒産件数は、1月単月としては、21年ぶりとなる低水準であった。一方で負債総額は2016年5月以来の10億円台であった。

5億円以上の倒産は無く、今年も全般的に「小規模倒産」が多い状況でのスタートとなり、比較的落ち着いた現況が見られるものの、一般個人消費は回復力に乏しく、この状況を直接的に受ける飲食・食品関連やアパレル関連を中心として、その動向を見守ることが肝要と思われる。

為替や株式相場などは連日大きく左右されているが、これが県下の景気や業況へ、どのような影響を与えるか否かは今後の展開次第。今しばらくは小規模な倒産状況が続くものと見られる。

1月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別	業 種 別										
	当月	前月	前月比	前年	前年比						
放 漫 経 営	3	1	2	3	0	建 設 業	3	12	9	6	▲ 3
過 小 資 本	1	5	▲ 4	0	1	製 造 業	3	5	2	2	1
連 鎖 倒 産	2	0	2	2	0	卸 売 業	4	6	2	5	▲ 1
赤 字 累 積	2	7	▲ 5	5	▲ 3	小 売 業	3	7	4	5	▲ 2
販 売 不 振	20	25	▲ 5	18	2	情 報 通 信 業	1	0	1	0	1
売 掛 金 回 収 難	0	0	0	0	0	サ ー ビ ス 業	11	6	5	10	1
そ の 他	0	0	0	3	▲ 3	不 動 産 ・ 運 輸 業 他	3	2	1	3	0
合 計	28	38	▲ 10	31	▲ 3	合 計	28	38	▲ 10	31	▲ 3

資料：東京商工リサーチ神戸支店

県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全国 (22年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)
27年 1月	107.8	7.6	102.4	3.7	185	17.8	0.9	1,830	-26.9	-13.0
2月	103.0	-4.5	98.9	-3.1	171	-11.6	1.0	2,308	-17.2	-3.1
3月	110.3	6.8	98.1	-0.8	253	-4.1	-0.3	2,898	13.9	0.7
4月	99.4	-10.0	99.3	1.2	531	-4.1	4.4	2,364	-13.1	0.4
5月	101.5	1.5	97.2	-2.1	286	-13.5	-3.4	2,985	19.8	5.8
6月	95.4	-5.9	98.3	1.1	347	1.5	-2.9	3,667	25.6	16.3
7月	98.9	2.5	97.5	-0.8	324	-13.6	-4.7	2,450	18.5	7.4
8月	97.5	-2.2	96.3	-1.2	248	6.8	-4.2	3,540	-15.0	8.8
9月	96.7	-1.6	97.4	1.1	330	-8.9	-5.3	2,292	-22.3	2.6
10月	95.1	-2.0	98.8	1.4	327	-4.9	-5.2	2,713	-13.7	-2.5
11月	98.9	4.0	97.9	-0.9	239	17.2	-4.6	3,191	-2.3	1.7
12月	94.3	-5.3	96.2	-1.7	293	21.7	-4.9	2,458	-11.1	-1.3
28年 1月	97.7	3.6	99.8	3.7	120	-35.1	-4.8	3,110	6.9	0.2
2月	101.7	3.6	93.2	-5.2	348	103.5	-4.7	2,158	-30.6	7.8
3月	99.5	-2.1	96.7	3.8	247	-2.0	-2.1	3,053	41.5	8.4
4月	100.2	0.5	97.2	0.5	655	23.3	10.6	3,019	27.7	9.0
5月	96.3	-4.7	94.7	-2.6	283	-1.2	1.4	2,218	-25.7	9.8
6月	101.3	5.2	96.9	2.3	451	29.9	-1.8	2,885	-21.3	-2.5
7月	96.6	-4.6	96.5	-0.4	288	-11.0	-6.9	3,032	23.8	8.9
8月	97.9	2.6	97.8	1.3	323	30.1	12.0	2,828	-20.1	2.5
9月	104.5	6.7	98.4	0.6	395	19.6	18.1	3,237	41.2	10.0
10月	97.2	-6.9	98.4	0.0	341	4.2	-10.0	2,810	3.6	13.7
11月	96.1	-0.9	99.9	1.5	167	-30.1	-5.7	3,004	-5.9	6.7
12月	99.4	3.4	100.6	0.7	198	-32.2	5.3	2,870	16.8	3.9
29年 1月					168	40.1	7.1			
2月										
3月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
27年 1月	14,292	-16.2	-20.7	172	-3.6	-0.4	4,304	21.4	2,934	-1.7
2月	17,426	-13.2	-15.8	139	-1.3	-17.7	4,145	-6.7	2,744	30.1
3月	21,773	-15.4	-11.9	171	-21.3	-17.7	5,185	6.9	2,658	0.6
4月	10,209	-4.9	-10.1	145	11.6	13.7	4,939	8.2	2,816	8.1
5月	11,397	-0.6	-8.2	153	5.7	6.3	4,376	1.0	2,560	-1.7
6月	14,318	-0.1	-3.8	149	-2.8	0.4	4,652	2.9	2,799	9.9
7月	13,853	-7.4	-9.1	177	3.5	0.4	4,928	6.9	2,873	8.0
8月	10,798	-0.5	-3.5	143	4.1	2.7	4,332	-3.7	2,627	6.8
9月	15,892	-9.8	-7.4	140	2.9	1.9	4,517	0.9	2,672	0.2
10月	12,686	-1.1	-4.0	155	2.9	4.2	4,843	-3.9	2,752	-2.7
11月	12,871	-3.6	-7.6	164	-4.4	-2.6	4,295	-5.7	2,625	-0.5
12月	12,131	-16.7	-14.6	233	-1.3	0.3	4,991	-8.0	2,586	-3.0
28年 1月	13,623	-4.7	-4.4	167	-2.9	-1.5	3,677	-14.6	2,688	-9.2
2月	15,837	-9.1	-7.5	138	-1.0	0.5	4,326	4.4	2,383	-13.2
3月	20,638	-5.2	-9.3	161	-5.9	-2.8	4,863	-6.2	2,551	-4.2
4月	11,125	9.0	2.2	141	-2.4	-3.6	4,466	-9.6	2,362	-16.1
5月	11,207	-1.7	-1.4	147	-3.7	-4.8	3,697	-15.5	2,410	-6.0
6月	13,684	-4.4	-5.6	144	-3.2	-3.6	4,484	-3.6	2,382	-14.9
7月	13,775	-0.6	-2.2	177	0.0	-0.2	4,203	-14.6	2,278	-20.7
8月	10,542	-2.4	2.9	134	-6.3	-3.6	3,918	-9.6	2,322	-11.6
9月	15,540	-2.2	-0.7	131	-6.7	-3.2	4,165	-7.8	2,332	-12.8
10月	12,801	0.9	-0.2	149	-3.7	-1.0	4,098	-15.4	2,208	-19.7
11月	13,901	8.0	8.8	156	-5.1	-0.3	4,262	-0.8	2,572	-2.0
12月	13,667	12.7	8.1	229	-1.6	-1.3	4,926	-1.3	2,495	-3.6
29年 1月	13,816	1.4	4.4	162	-3.0		3,457	-6.0	2,748	3.0
2月										
3月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (H28.7より27年=100)			
	兵庫県	全国	全産業	前年比	指数	前年比	神戸市		全国	
							指数	前年比	指数	前年比
	(季調値)	(季調値)	(千人)	(%)	(22年=100)	(%)		(%)		(%)
27年 1月	0.95	1.14	1,032	-0.2	96.8	-0.1	102.3	2.3	103.3	2.4
2月	0.94	1.15	1,040	0.0	96.0	-0.9	102.4	-0.1	103.1	2.4
3月	0.95	1.15	1,032	-0.7	96.9	0.4	102.9	2.0	103.3	2.3
4月	0.96	1.17	1,053	0.4	98.4	0.0	103.2	0.6	103.7	0.6
5月	0.97	1.19	1,055	0.5	96.4	-1.3	103.8	0.9	104.0	0.5
6月	0.96	1.19	1,045	0.5	97.6	-0.5	103.5	0.7	103.8	0.4
7月	0.98	1.21	1,055	0.6	97.4	0.3	103.2	0.2	103.7	0.2
8月	1.00	1.23	1,052	0.4	97.5	-0.1	103.8	0.6	103.9	0.2
9月	1.02	1.24	1,052	0.7	97.7	1.3	103.7	0.2	103.9	0.0
10月	1.03	1.24	1,024	0.9	97.6	0.3	103.8	0.7	103.9	0.3
11月	1.05	1.25	1,057	0.8	97.9	0.8	103.5	-0.3	103.5	0.3
12月	1.06	1.27	1,057	1.1	97.9	0.7	103.4	-0.1	103.0	0.0
28年 1月	1.05	1.28	1,052	1.0	97.2	0.4	103.0	-0.5	103.2	0.3
2月	1.06	1.28	1,048	0.8	97.8	1.9	103.2	0.8	103.2	0.3
3月	1.08	1.30	1,042	1.0	99.4	2.6	103.2	0.4	103.3	-0.1
4月	1.12	1.34	1,059	0.5	99.4	1.0	103.3	0.1	103.4	-0.3
5月	1.14	1.36	1,061	0.5	98.5	2.2	103.6	-0.2	103.6	-0.4
6月	1.15	1.37	1,063	0.8	98.2	0.6	103.2	-0.2	103.3	-0.4
7月	1.16	1.37	1,060	0.5	98.9	1.5	103.2	0.0	99.6	-0.4
8月	1.15	1.37	1,057	0.5	98.4	1.5	100.1	-0.1	99.7	-0.5
9月	1.14	1.38	1,055	0.3	98.9	1.2	100.1	-0.2	99.8	-0.5
10月	1.17	1.40	1,053	0.0	98.6	1.0	100.7	0.2	100.4	0.1
11月	1.18	1.41	1,053	-0.4	99.9	2.0	100.6	-0.1	100.4	0.5
12月	1.19	1.43	1,051	-0.6	99.6	1.7	100.4	0.2	100.1	-0.2
29年 1月							100.0	-0.4		
2月										
3月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額			倒産 件数	負債 総額	地域別倒産件数		
	指数	前年比	(各期末)	前年比	全国銀行			神戸	阪神	播磨他
		(%)	(億円)	(%)	(年%)	(件)	(億円)	(件)	(件)	(件)
27年 1月	103.3	0.3	154,351	1.3	1.179	33	33	14	10	9
2月	103.3	0.5	154,880	1.7	1.173	40	42	12	15	13
3月	103.5	0.7	158,666	2.1	1.158	53	65	14	23	16
4月	103.6	-2.1	155,375	2.0	1.157	43	37	15	13	15
5月	103.9	-2.1	154,428	0.7	1.153	45	105	16	11	18
6月	103.6	-2.4	154,717	1.3	1.141	49	24	21	16	12
7月	103.4	-3.0	154,763	1.5	1.137	40	51	17	7	16
8月	102.7	-3.6	154,623	1.1	1.135	38	20	18	7	13
9月	102.2	-3.9	156,038	1.5	1.125	40	48	14	12	14
10月	101.5	-3.8	155,425	1.5	1.125	38	21	15	10	13
11月	101.4	-3.6	155,242	1.2	1.121	46	68	22	9	15
12月	101.1	-3.4	156,968	1.3	1.110	34	43	13	9	21
28年 1月	100.1	-3.1	156,038	1.1	1.108	31	44	11	9	11
2月	99.8	-3.4	155,727	0.5	1.098	38	26	14	11	13
3月	99.6	-3.8	161,190	1.6	1.076	39	33	10	17	12
4月	99.3	-4.2	156,431	0.7	1.066	45	95	17	14	14
5月	99.4	-4.2	155,843	0.9	1.054	25	17	10	8	7
6月	99.2	-4.2	156,758	1.3	1.039	55	35	18	18	19
7月	99.2	-3.9	157,441	1.7	1.033	30	51	13	11	6
8月	98.9	-3.6	156,920	1.5	1.026	31	20	11	12	8
9月	98.8	-3.2	158,317	1.5	1.016	34	21	12	11	11
10月	98.7	-2.7	157,271	1.2	1.014	39	23	17	10	12
11月	99.1	-2.2	157,889	1.7	1.009	29	90	6	11	12
12月	99.7	-1.2	159,432	1.6	0.998	38	27	15	12	11
29年 1月	97.7	0.5				28	13	8	9	11
2月										
3月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値